

共助SDGsコバトン記者団の活動紹介



カヌーで綾瀬川の清掃活動



草加市を流れる綾瀬川で、カヌーに乗って川をきれいにしている特定非営利活動法人草加市カヌー協会草加パドラーズの皆さん取材しました。6年前、汚れた綾瀬川の清掃活動を二人で始められた団体は、今では会員も100名までに増え、毎週水、土、日曜日に清掃活動を続けられています。

取材活動では、10名の小学生から高校生の記者団が集合し、20名以上のパドラーズの皆さんの指導や見守りをいただきながら、みっちり1時間の操作訓練を受けました。

初めてのカヌーの操作でしたがすぐに皆さん一人で乗船！探検と称し、水門下のトンネルをくぐり、綾瀬川の史跡や歴史について学びました。

上流の乗船場に戻る時には、全員が多くのごみを回収しました。上陸後は指導員の方々に綾瀬川の清掃活動や団体の活動について取材をし、カヌーに乗って清掃するという実体験を通して、地域の川を守る活動の意義に触れた取材活動になりました。

共助SDGsコバトン記者団取材

川の清掃や町の掃除をすることで持続可能なきれいな川が生まれることがわかりました。この活動を広げて続けることがSDGsにつながることで、また一緒に取り組む仲間や活動に楽しさを見いだすことで継続して取り組めると思います。カヌーの清掃活動を世界や日本全国で教えたり、広めたりすることができればこの川もきれいにすることができるので自分でも活動を広めたいと思います。学校でもこういう活動に挑戦したい！

中学生 Aさん

